

陸海空そろった市の船頭として



あさくち 浅口市長(岡山県) くりやま やすひこ 栗山康彦

日本一と宇宙一

晴れの国、岡山県。その中でも最も天候に恵まれているのがここ、浅口市です。県内一面積の狭い市で、1時間もあれば市内をぐるっと一周できてしまいます。

雨が少ないこと、そしておいしい空気ときれいな山水により、「手延べ麺」が特産品！手延べうどんの生産量はなんと日本一です。のど越しとコシを同時に楽しむことができる逸品で、本市の麺を食べるとほかの麺では物足りなくなってしまう！と



せいめい望遠鏡(右)の設置場所は星の観測地として最適

心配になるほど、自慢のおいしさです。

また、空気も澄んでいるため、星の観測地としても最適です。皆さんは「せいめい望遠鏡」をご存じでしょうか。口径3.8mと東アジア最大にして、日本初・世界初の技術を集めた、まさに宇宙一の望遠鏡が、平成30年に本市に設置されました。10km先の5円玉の穴を射抜き続けるほどの精度で、はるかかなたの宇宙の謎を解き明かします。その他にも、日本最大級の大きさを誇る188cm反射望遠鏡や、これらに隣接する岡山天文博物館などの天文施設もお楽しみいただけます。

さて、そんな天文のまちの私の名刺は、同博物館のマスクottキャラクター「せいめいくん」「てんもんくん・てんもんちゃん」を



筆者の名刺「てんもんくん・てんもんちゃん」(左)と「せいめいくん」(右)

かたどった名刺です。陰陽師で有名な安倍晴明も浅口の星を使って吉凶を占っていたようですが、残念ながら私は占いには疎く、名刺を相手にお渡しした時の反応が良ければうれしいなと思う単純な面が無きしもあらず。

海の恵み

瀬戸内海に面した本市では漁業も盛んです。特にかきは、市内外から人気を集めています。かきといえば、県内では日生(備前市日生町)や、お隣の広島県などが有名ですが、本市のかきは、身が大きく甘みがたっぷり詰まった知る人ぞ知る名産品で、プロの料理人の方からも絶賛いただいています！ 昨年はコロナ禍のため中止しましたが、毎年開催している「よりしまかきの祭典」や、地元漁協主催の「よりしまかき祭り」にも多くの来場者にお越しいただいております。



地元漁協主催の「よりしまかき祭り」



筆者と愛犬たち

ところで、海と共に育ったと言っても過言ではない私は、誰からも「釣りバカ」と言われます。釣りは釣りでも、私が好きなのは鯛釣り。自ら操舵し沖へ出て、竿を握りしめ、鯛を釣り上げることがライフワークの一つです。夜明け前から出発し、さばいて保存するところまでが私の仕事であり、残りは妻に調理を任せます。なかなかまとまった時間がとれない上、コロナ禍では、海の上とはいえ自粛せざるを得ない状況ですので、ここ最近は陸の上で過ごしていますが…。

身体づくり

岡山県議会議員を務めたのち、生まれ故郷の浅口郡鴨方町



筆者の朝食。黒にんにく(左下)も欠かさない

(現・浅口市鴨方町)の合併に伴い浅口市長に立候補しましたが、僅差で敗れてしまいました。その後、平成22年に当選し、以降3期11年、市長として日々、本市と共に成長を続けていると信じています。そんな私の朝は、5時30分の愛犬の散歩から始まります。「健康には1日1万歩」とよく耳にされると思いますが、私は朝の散歩で8〜9000歩を歩いています。最近では愛犬が2匹に増えて、楽しみも2倍となりました。散歩後には丁寧にブラッシングをしてあげます。

朝一番の幸せな時間を過ごしたのちに朝食です。白米、汁物、サラダのほか、ステーキ、納豆、黒酢、黒にんにく、青汁、フルーツ、ヨーグルト。しっかり運動して、しっかり食べる。私の身体づくりの基本です。

さて、先ほどご紹介した「黒にんにく」は、私自身の手で何日もかけて熟成させた手作りに黒にんにくです。職員や初めて食べる方からも評判が良いので、手料理のおはこと言っていないかもしれません。冷え性に悩ん

でいた妻も、これを食べ始めたことで冬でも素足で寝られるほど手足がポカポカになったようです。私はといえば、昨年末で66歳を迎えましたが、年々お酒に強くなってきました。以前はコップ1杯のビールでほろ酔いでしたが、今ではビールのほか、焼酎、日本酒などに舌鼓を打つ毎日です。もちろん休肝日を設けていますよ。酒といえば、本市は酒どころとしても人気であり、甘くておいしい日本酒はふるさと納税の返礼品にも指定していますので、ぜひ召し上がってみてください。

「政治の課題と解決策は現場にある」をモットーに、ほとんど毎週末、市内地区の会合・イベントへ出席したり、関係団体などとの座談会を開いたりしながら、私自身が現場の生の声を聞いてきましたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、めっきりと減ってしまいました。効率的な行政運営、IT・AI化などが求められています。社会の基本構成は「人」であり、だからこそ、答えは現場(人)にあるのです。

現在本市は、第2次浅口市総合計画後期基本計画策定の真っただ中にあります。まちづくりには明確な手順や方法はありませんが、さまざまな声を拾い、反映し、職員、関係団体、市民が丸となって浅口市づくりに励む、そんな環境づくりの船長として、荒波にも負けずに取り組んでまいります。